

会 議 録

会議名	令和3年度第2回戸田市障害者施策推進協議会		
開催日時	令和4年1月19日(水)の会議を中止とし、書面開催とする。各委員からの意見聴取の締め切りを令和4年2月22日(火)とし、意見を取りまとめた上で、各委員へ通知をした。		
会長氏名	<small>たなか なおか えみ こ</small> 田中 (長岡) 恵美子		
委員出欠席	<input type="checkbox"/> <small>たなか えみ こ</small> 田中 恵美子 会長	<input type="checkbox"/> <small>こやま まさひこ</small> 小山 昌彦 副会長	<input type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員
	<input type="checkbox"/> <small>こぬま あきこ</small> 小沼 明子 委員	<input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員	<input type="checkbox"/> <small>のぐち つねみ</small> 野口 永見 委員
	<input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員	<input type="checkbox"/> <small>きむら あきら</small> 木村 章 委員	<input checked="" type="checkbox"/> <small>のがみ たつお</small> 野上 辰男 委員
	<input type="checkbox"/> <small>よしかわ よういち</small> 吉川 洋一 委員	<input type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員	<input type="checkbox"/> <small>たなか つねゆき</small> 田中 庸介 委員
	<input type="checkbox"/> <small>こばやし かなこ</small> 小林 加名子 委員	<input type="checkbox"/> <small>かわかみ ひろたけ</small> 川上 裕丈 委員	<input type="checkbox"/> <small>さとう ゆり</small> 佐藤 由里 委員
	<input type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員	<input type="checkbox"/> <small>おおつき ともや</small> 大槻 知也 委員	<input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員
	<input type="checkbox"/> 久川 理恵 委員		
	※ <input type="checkbox"/> 出席・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠席 (議事に関する意見の用紙の返送をもって出欠とする) ※謝礼の支出について 除外(辞退): 大槻委員、久川委員、田中(庸)委員、川上(裕)委員、猪野委員 (退職): 野上委員		
	健康福祉部	秋元次長	
	障害福祉課	谷島課長	太田主幹 尾崎主幹
		時田主事	坂口主事
議 事	(1) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について		
会議内容及び結果	議事(1)について協議 意見の詳細については、別紙「令和3年度第2回戸田市障害者施策推進協議会 御意見等一覧」のとおり		
会議録作成	令和4年3月23日	作成者 坂口 友梨	

令和3年度第2回戸田市障害者施策推進協議会 御意見等一覧

一部の御質問について、設問の移動をしておりますので、ご了承ください。

○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について

① 資料2における、構成要素ごとの御意見等

御意見等	回答
住まいの確保について、公営住宅やUR（独立行政法人都市再生機構）の利用はあり得るのか。 もし可能であれば、内容に追加するのはどうか。	公営住宅は障害を事由に入居を拒むことはなく、社会資源として利用することは可能であると思いますが、公平な抽選のもと、入居者が決定されるものなので、ロードマップに明記するような資源ではないと事務局は考えます。またURについては、障害による不当な取り扱いを行わないことを謳っていることの確認はできましたが、個別ケースでの調整を図ったことがないため、有用な社会資源となりえるかどうか、検討したいと思います。
コロナの関係で会議ができず、困っている。今回は高齢者の見守りと地域子ども達を見守ることにしている。	引き続きご協力の程お願いいたします。
わかくさ会では、基幹相談支援センター、ひかり、大地、就労支援センターにおいて関わりを持つことになる考える。	各機関と連携しながら支援をしたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。
取組について、「コミュニティソーシャルワーカーによる出張相談会」の追記	資料に反映いたします。
保健・予防の項目について、「家族支援の充実」とあり、「家族会の実施」、「引きこもりへの支援」とあるが、不登校、引きこもりの問題では、発達障害を持ち合わせている方に対して、本人、家族共に早期に（学童期から）、支援を行うことが重要だと思われる。 大人になってから支援するのでは、自己肯定感を取り戻すことにも時間がかかると考えられる。	仰るとおりかと思えます。 幼児期早期において適切にサービスが利用できるよう周知を図ると共に、体制整備をし、支援体制の充実に努めて参ります。
医療の項目に「スクールカウンセラーとの連携」とあるが、関係機関に教育センターを加えてはどうか。	調整を図り、担当課の見解を伺いたしたいと思います。
地域の助け合い・教育の項目に、「障害児を抱えた	今後とも支援の実施をお願い申し上げます

精神障害を患う保護者へのサポート」とあるが、実際にそのようなケースの家族支援は、保健師、相談支援事業所、家庭児童相談室等と連携をもちながら進めている。	す。
医療の項目の「医療・保健的アウトリーチの充実と効果的な支援」の取組欄に「市内医療関係機関や福祉保健センターによるアウトリーチ支援」を追加するのはどうか。	関係機関と調整させていただく必要がありますので、検討いたします。
医療の項目の目標欄を設定する際に「専門職によるアウトリーチを活用しやすくする体制の構築」「市内関係各機関のPSW配置の充実」の趣旨を入れるのはどうか。	市内関係機関のPSWがどの程度配置されているのか確認し、検討いたします。
医療の項目の「長期入院精神障害者の効果的な退院支援」の取組欄に「精神科訪問看護の充実」「精神科デイケアの整備」を追加するのはどうか。	医療機関側との調整をし、検討いたします。
保健・予防の項目の「家族支援充実」の関係機関に「福祉保健センター」を追加するのはどうか。	調整を図り、担当課の見解を伺いたいと思います。
保健・予防の項目の「家族支援充実」の取組欄に「自宅訪問などアウトリーチ機能の充実」「訪問診療を増やす」を追加するのはどうか。	訪問診療については、医療機関との調整を行いたいと思います。
障害福祉・介護の項目の「地域移行・地域定着の必要な基盤整備」の取組欄に「地域住民への周知活動（障害への理解促進）」を追加するのはどうか。	どのような地域住民への周知活動が考えられるかも含め検討いたします。
障害福祉・介護の項目の「介護と福祉の連携」の関係機関欄に「居宅介護支援事業所」を追加するのはどうか。	ロードマップに関係機関として明記した場合、適宜進捗を確認する必要性も出てくるため、適切かどうか検討いたします。
障害福祉・介護の項目の「効果的な支援プラン、ノウハウの共有」の取組欄に「相談支援専門員へのフォロー体制の強化」を追加するのはどうか。	フォローする立場である機関に確認し、資料に反映いたします。
住まいの項目の「精神障害者の住まい確保に係る課題等の実態把握と、必要なグループホーム等の整備」の取組欄の趣旨に「グループホームだけではなく障害を持っていても受入れ可能な賃貸物件の確保や整備」「グループホームの空き状況等、最新の情報公開」を追加するのはどうか。	「障害を持っていても受入れ可能な賃貸物件の確保」がどのような手段で取り組むことができるのか検討いたします。 「グループホームの空き状況等、最新の情報公開」については、まず、市内のグループホームと調整を図っていきたいと思います。

<p>社会参加の欄について、「戸田市の企業と障害シェア雇用推進のための企業連絡会の立ち上げを戸田市障害者就労センターと経済戦略室と連携を進める」とある。ぜひこのような支援が進んでいくとよいと思う。社会に貢献していること、人の役に立っていることを、働くことを通して感じられるようにできたらよい。</p>	<p>連携、支援の確立が進むと望ましいと考えます。障害福祉課としても、関係機関と協力をしながら支援をして参りたいと存じます。</p>
<p>町会内が地域移行の支援を担える地域もあると思うが、個人情報保護の問題をクリアし、町会を関係機関に追記することは可能か。(担える町会だけでも) おねがい、まかせて会員の制度も活用。</p>	<p>いずれは地域（町会）の御協力も得ながら、包括ケアシステムを推進していきたいと考えておりますが、まずは、御理解のいただけている機関から進めていき、徐々に地域に広げたいと考えております。</p>
<p>アルコール依存が中心となるが、依存症についてどこかのカテゴリーに入れたほうが良いのではないかな。</p>	<p>医療側の視点からのお話も伺い、検討いたします。</p>
<p>医療の項目について以下の内容で追記するのはどうか。 ・アウトリーチの充実／取組～各機関が情報交換できる場を作る ・長期入院者支援／機関～保健センターの追記 ・取組～長期入院者の情報共有の場（医療機関との定期的な会議）の追記</p>	<p>関係機関と調整が必要な物もございますので、検討いたします。</p>
<p>医療の項目の取組にある「学校向けの進路学習会」とはどのようなことか。</p>	<p>医療の項目に記載があるが、適切でないため、他の項目に記載もしくは削除いたします。内容としては、学校・保護者へ対し、卒業後の障害福祉サービスの利用についてのご説明をしております。</p>
<p>保健・予防の項目について ・相談業務の充実／関係機関に保健センター、学校、教育センターの追記 取組に・相談ルートの整備が必要。 ① 心の健康相談、訪問の現状、事例などからその効果などを教えていただきたい。 ② （PSW 資格を有した）職員による相談の実施についての現状も教えていただきたい。 ③ 家族支援／関係機関：家族会とはきららか。</p>	<p>追記事項について、検討いたします。 また、①～④については以下のとおりです。 ① 心の健康相談等においては、福祉保健センターが実施主体となりますので、自立協等において、効果等を確認し、目標設定を行っていきたいと思います。 ② 障害福祉課及び福祉保健センターにおいては、PSW の資格を有した職員が必要</p>

<p>家族会は関係機関となり得るのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、障害福祉課の追記 <p>④ 取組：家族会の実施はどのように関わっているのか？</p> <p>引きこもり支援とはどのような取り組みか？</p>	<p>に応じて相談に乗ることで、解決に努めております。</p> <p>③ きららを想定しております。</p> <p>④ 取組は現状自立協での意見や事務局として考えられるものを記載しておりますので、今後の検討の中で関係機関に伺い、深掘りしていければと思います。</p>
<p>障害・介護の項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備／取組～：病院との情報共有の場を作る（医療と同じ）の追記。 ・地域移行実施できる一般相談支援事業所を増やす。（市からの働きかけ）の追記 ・連携／関係機関：社会福祉協議会の追記 <p>① ノウハウの共有／取組～GSV とは何を？（GSVはこの項目には適さないと思う）</p>	<p>関係機関との調整があるため、検討いたします。</p> <p>① について、事務局としては、相談支援連絡会、事例検討などで好事例ケースの共有、近隣市・国・県などの好事例、モデルケースを参考にしながら、ノウハウの共有を図ろうと考えております。</p> <p>委員の皆様にご意見をいただきながら、進めて参ります。</p> <p>GSV に関してのご指摘もありがとうございます。</p>
<p>住まいの項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題と実体把握／関係機関：総合相談窓口の追記。資源の一つ、という位置づけと以前聞いたが、やはり関係機関として連携できるとよいのではないかと思う。 ・取組：地域住民への説明は促しだけでなく、市が積極的に理解促進に協力してほしい。 <p>① 手引き作成・周知とは、どんなことを考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関：上記同様。総合相談の追記。 <p>② 取組：民間住宅への移行支援とは、どこから移行か。</p>	<p>追記部分につきまして、検討いたします。</p> <p>① について、精神障害者の住まいの確保に関してのチャート、リーフレット等の作成、周知の検討しておりますが、来年度委員の皆様にも御意見いただきながら検討を考えております。</p> <p>② について、基本的には精神科病院からの移行を想定しております。</p>
<p>社会参加の項目について</p> <p>① 社会参加とは、どういうイメージか。就労なのか、居場所なのか。</p> <p>② ノウハウの共有をどうやっていくのか。取組・制度の内容からイメージがつかない。</p> <p>③ ピアカウンセリング：NPO 団体はどこか？</p>	<p>① 就労、デイケア、地域活動支援センター、福祉的作業所通所、ピアカウンセリング等障害者本人の居場所としての社会参加と考えております。</p> <p>② 近隣市の状況や県、国の好事例・モデルケースを参考にしながら、進められれば</p>

<p>(こころのかけはし?)</p>	<p>と考えております。 ③ お見込みのとおりです。また、市外になりますが、県の団体の活用も可能かと思えます。</p>
<p>地域の助け合いの項目について ① 当事者、家族等との連携とはどのようなことか。 関係機関：保健センターの追記 ② 取組：病院職員向け研修、とは何をしているのか?どこが実施?</p>	<p>① 県の手引きをもとに作成しているところであり、詳細は目標設定を行う際に関係機関に伺っていきたいと思います。ピアカウンセリング等の当事者団体、きららのような家族会のような社会資源とも有用な連携を検討していきたいと思います。 ② 医療機関毎に行っているものを指しています。また、県での精神障がいにも対応した包括ケアシステムについて研修の開催があった際に各医療機関、関係機関が参加しています。</p>
<p>構成要素の小項目の内容そのものがわかりにくい。何を目的としてこの小項目としたのか?地域課題、ニーズを踏まえた小項目設定をしてみてもどうか?現状確認シートの課題、今後の取り組み案を活かしてロードマップを作るとよいのではないか。</p>	<p>書式について、検討・見直しを行いたいと思います。</p>
<p>取組・制度の欄が、取組なのか制度なのか、既存の資源なのか又は、あるとよい資源(これからの取り組み)なのか、混在しておりわかりにくいので別にした方がよいのではないか。 また、関係機関と取組がリンクして書かれている方が、機関の役割がわかりやすいだろう。</p>	<p>書式について、検討・見直しを行いたいと思います。</p>
<p>地域の助け合い・教育 (心と情報のバリアフリー講座の実施について) →当事者や関係団体が中心として講座の実施を進めるのが必要だと感じる。 精神保健相談業務の充実、窓口の周知、相談ルートの整備(こころの健康相談や訪問の実施等) →臨床心理士、公認心理師の人的資源を活用したアセスメントの実施は、幅広く連携や当事者の特性を知るうえで必要と考える。</p>	<p>現在、実施している取組については継続して行い、他機関との調整が必要な事項については、来年度以降検討を行いたいと思います。</p>

<p>自宅復帰や施設利用を考える点では、心理的な視点での介入が必要だと感じる。</p> <p>地域移行・地域定着の必要な基盤整備 (地域移行支援・地域定着支援の周知、理解促進) →地域住民の障害に対する理解促進、理解普及の 為、サポーターを増やしていくことが必要だと感じる。</p>	
<p>「取組・制度」項目について 制度と取組を分けて考えたほうがより分かりやすい。 どのような制度や規定があるのか。どのような取組を進めていけるのか。 制度とやる事が混同していて読みにくいと感じた。</p>	<p>他の委員よりも同様のご指摘をいただいていることから、いただいた御意見の反映と共に、書式について、検討・見直しを行いたいと思います。</p>

② 情報共有とご報告

内容を拝見し、①③の他の御意見欄へ移動させております。

③ ①②以外の御意見について

御意見等	回答
<p>地域の助け合い・教育の欄と関係するが、コロナ禍で、当事者の集まり、家族会の機会が少なくなっているとのある。 オンラインのサポートをしたり、運営の手伝いをするなどの支援をしながら、当事者や家族は思いを吐き出せる場が必要と思われる。</p>	<p>研修や会議等 Zoom 等でのオンライン開催もされていることから、他機関の取組を参考にしながら活動を行うことが課題であると考えます。</p>
<p>グループホーム等建設に際して反対運動などは起きていないのか。戸田病院が地域医療にご尽力されていることで住民の理解が進んでいるのであれば、好例として今後様々な場面で取り上げていくとよいと思う。 建設反対があった地域では、説明をすることでかえって反対運動がエスカレートしたという事実もあるため、戸田市における今後の展開ではどのような情報提供が望ましいのか、具体的に検討しておく必要</p>	<p>一部、グループホーム建設等に際して、難色を示す声があることは聞いております。 設立後のホームと地域との関わりで関係性の構築を図ることも重要です。 近隣市の取組を参考にしながら、戸田市として検討をして参りたいと存じます。</p>

があると思った。	
人事異動の引継ぎ、特に医療機関は大切である。 社会参加に商工会、とだわらび青年会議所等が必要ではないか。	各機関の切れ目のない支援のために大切な事項です。 関係機関に、是非協力いただきたいと存じます。
社会参加がピアサポーターになっている。 就労支援にはジョブコーチを検討導入してほしい。 戸田市に保健所が欲しい。(南部保健所には歩いて行けず、交通面も苦しい)。	国の手引きを参考にし、社会参加として、就労、デイケア、地域活動支援センター、ピアカウンセリングを想定しております。 ジョブコーチについては、企業が導入を行う国の支援事業であるため、障害福祉課として導入は難しい現状です。 また、保健所の設置は、埼玉県での設置となるため戸田市では設置の検討ができません。
支援が人事異動等で一部途絶えてしまうことをどの様に情報を共有していくことが有効かの議論は必要であるとする。	ご指摘のとおりです。 各支援機関の課題かと思われます。
ご家族が当事者の障害を隠し、サービスを利用させないといった内容があるが、戸田市や基幹相談支援センター、各相談支援事業所が障害のある方の家庭を訪問し、各種サービスを周知するほうがよいのではないか。	障害福祉課、基幹相談支援センター、委託の相談支援事業所において、状況に応じ、自宅訪問を行っております。 引き続き、実施して参ります。
社会参加活動において、イベントに参加するメンバーが固定化しており、新しい参加者がいないとの内容があるが、戸田市やイベント主催者が、参加した当事者やご家族に協力を仰ぎ、イベントの周知をしてもらうといいのではないか。	会議での情報共有を図っているため、関係機関からの周知を期待したいと思います。
交流が情報共有の手段であるとするため、コロナ禍ではあるが、各種障害のある方との交流できる場を設けてほしいと思う。	本会議には、様々な機関が参加していることから、団体間での交流が進み、そのような会が開かれることを期待しております。

○情報共有事項について（戸田病院、南部保健所）

御意見等
戸田病院の資料を見て、精神科訪問看護、訪問診療医等、様々な取り組みをされていることを知った。訪問看護、訪問診療医は、利用者にとってとても便利で重要なサービスであると同時に、最近、事件もあったように、訪問する医師や看護師の安全の確保ができていないのか心配である。身の危険を感じたら緊急通報できるシステムがあればよいと感じる。
保健所は、新型コロナウイルス感染症の対応で大変な状況。その中で、精神障害者のケアをきめ細かく行うためにも職員の増加など、保健所機能の充実を求めたい。
情報共有に必要な個人情報をどの様に共有し、保護してゆくのかの議論は重要だと考える。
介護施設を利用するには、受入側の理解が欠かせない。身の回りのケアの他に心理的なアセスメントが必要である。心理的な介入について考えるべきだと感じた。